

# 谷田山東光寺 山門大施食会法要

令和元年七月二十九日 午前十時打ち出し

於 東光寺本堂

ほんぞんじょうぐ

## 本尊上供

…東光寺「ご本尊様への報恩感謝の法要

- ・殿鐘三会 …法要の開始を告げる鐘が鳴ります。
- ・七下鐘導師上殿 …三宝御和讃が唱えられ、僧侶衆、最後に導師が入堂します。
- ・上香普同三拝 …ご本尊さまにお香をお供えしてあいさつの三拝をします。
- ・読経 …「摩訶般若波羅蜜多心経」を読経します。
- ・回向 …維那和尚がお経の功德を回らします。
- ・普同三拝 …今一度、ご本尊さまに三拝します。

せじきえほつよう

## 施食会法要

…あらゆる精霊に食事を施し、その苦しみを除いた功德を回らして、  
ご先祖さまを供養する法要

- ・両序転換 …僧侶衆が施架が祀られた南面に向きを変えます。
- ・鼓鉢三通 …五如来さまを道場にお招きする鳴らし物が鳴ります。
- ・拈香法語 …導師がお香を拈じて法語を述べます。
- ・読経 …「大悲心陀羅尼咒」を読経します。  
…続いて「甘露門」を読経します。
- ・五如来焼香 …「甘露門」の読経中に、僧侶衆が五如来さまに焼香します。
- ・普回向 …あらゆる精霊にお経の功德を回らします。
- ・読経 …「修証義」の前二章を読経します。  
…読経中、僧侶衆が本堂内を行道します。  
…行道の後、一般参列者が焼香します。
- ・梅花流詠賛歌奉詠 …新亡精霊供養御和讃をお唱えします。
- ・回向 …導師が施架前で初盆精霊と塔婆供養希望家の読み込みを行います。
- ・鼓鉢三通 …五如来さまをお送りする鳴らし物が鳴ります。
- ・両序転換 …僧侶衆がご本尊様の祀られた北面に向きを戻します。
- ・導師退堂 …正法御和讃が唱えられ、導師が退堂します。
- ・散堂 …僧侶衆が退堂します。

# 施食幡

せじきばた

## 施食会にかける幡

せじきえ

はた

東光寺では毎年、七月二十九日に山門大施食会を行います。

施食会とは、あらゆる世界の生きとし生けるものに食事を施し、その苦しみを除いた功德を回らして、ご先祖様を供養する法要です。先祖供養と共に、自分自身の延命福寿の功德もあるとされ、供養法要の中でも特に有り難い大法要です。

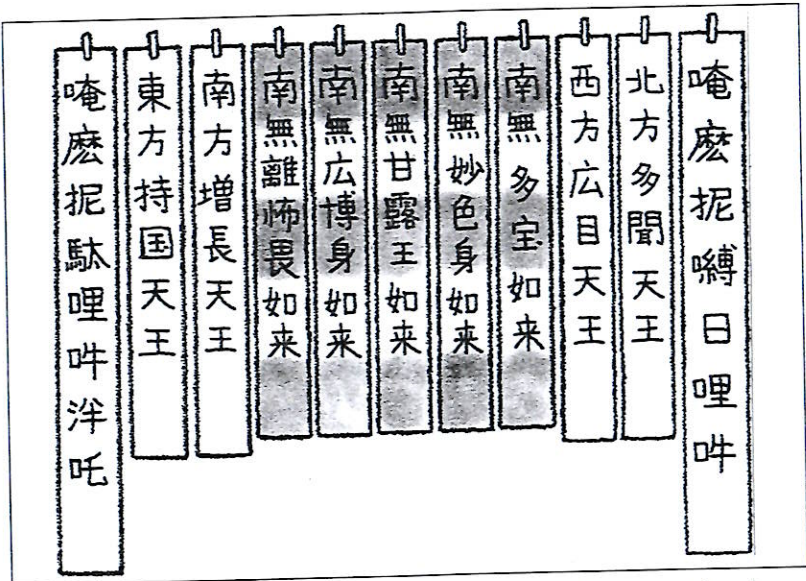
施食会では本堂に食事を施すための祭壇として「施架せか（施食棚）」を設けます。施架の周囲には、施食幡という多くの幡がかけられます。

四天王幡（してんのうばた）、大幡（おおばた）、五如来幡（ごにょらいばた）、小幡（こばた）の四種類あり、図のようにかけ方も決まっています。

「四天王幡」は白い幡で道場の東西南北の四方を守ってくれる四人の守護神の名前を記した幡です。

「大幡」も白い幡で、法要で読経する『甘露門』の中の『大宝楼閣善住秘密根本陀羅尼（だいほうろうかくせんじゅうひみつこんぼんだらに）』の最後の二句を記しています。心呪と呼ばれる「唵麼拏囉日哩吽（おんまにだれいんぼつた）」が書かれていて、心呪は数多く唱えれば仏さまにお会いできることとされ、随心呪は数多く唱えれば様々な妨げが無くなるとされます。

「五如来幡」は五色の幡で、『甘露門』に出てくる五人の如来さま（多宝、妙色身、甘露王、広博身、離怖畏）が書かれています。五色の幡は、上から緑・黄・赤・白・紫の順番です。五色は、生きとし生けるものを照らす如来さま方の智慧の光を表しています。



「小幡」は『甘露門』にある招請発願という二十五句の文章を、一句ずつ書いたもので、当寺では施架の四方に書かれています。

『甘露門』は地獄・餓鬼・畜生道で苦しむ霊も苦しみから救い成仏させるお経です。

五如来さまのお導きをいただき、餓鬼道の因縁となる慳貪心（モノオシミ）を離れさせ、説得し、癒し、喜びを与え、恐怖心を取り除き、更に善道をさし示し、菩提心（ホトケゴコロ）を発させるのです。私たちが陥りやすい自分だけよければいいという考え方も餓鬼道に落ちる因縁であります。

餓鬼衆も、ご先祖様も、自分も、皆で共に救われるのが施食会の大功徳なのです。